

2025 年 4 月 24 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「2025 年度新入社員の意識調査・理想の上司」調査報告

OKBグループのシンクタンク（株）OKB総研（岐阜県大垣市郭町 2-25 社長 青木義実）は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。当社では、OKB 総研主催の新入社員研修会の受講者を対象に、「新入社員の意識調査」を毎年実施しています。

〈調査結果のポイント〉

■ 理想の上司は、「内村光良」が2年連続で1位（敬称略）

「あなたの理想の上司について著名人・有名人に例え1人だけお答え下さい（自由回答）」と尋ねたところ、「内村光良」が前回調査（2024 年度）に続き1位となり、男女別ランキングでもトップとなった。

新入社員全体

順位		支持率 (%)
1位	(1) 内村光良	9.4 (5.5)
2位	(2) 大谷翔平	4.2 (4.9)
3位	(4) 明石家さんま	4.5 (3.0)
4位	(3) 水ト麻美	3.0 (4.7)
5位	(9) アンミカ	2.7 (1.9)

(注) 敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

男性新入社員

順位		支持率 (%)
1位	(2) 内村光良	9.7 (6.0)
2位	(1) 大谷翔平	5.3 (7.0)
	(4) 明石家さんま	5.3 (3.0)
4位	(3) フリーザ	4.4 (4.0)
5位	(8) 松岡修造	3.1 (2.0)

(注) 敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

女性新入社員

順位		支持率 (%)
1位	(2) 内村光良	9.3 (5.0)
2位	(3) アンミカ	6.4 (4.3)
3位	(1) 水ト麻美	5.2 (10.6)
	(5) 天海祐希	5.2 (3.7)
5位	(3) 櫻井翔	4.1 (4.3)

(注) 敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

■ 将来就きたい地位は「スペシャリスト志向」が再び首位に

「将来どんな地位に就きたいか」と尋ねたところ、1位が「スペシャリスト志向」で36.9%、次いで「管理職志向」が20.5%、「一般社員志向」が19.0%となった。「スペシャリスト志向」が前回から12.0ポイント上昇して2年ぶりにトップとなった。前回1位の「一般社員志向」は9.1ポイント低下して3位となった。

■ 上司・先輩との人間関係は「ほどほど派」が65%

「上司・先輩との人間関係はどのように考えているか」と尋ねたところ、「ほどほど派」が65.0%で最も高く、次いで「積極派」が24.4%となった。

■ 働く目的は「収入を得て安定した生活を送りたい」「自分の成長のため」が上位

「あなたが働く目的は何か」と尋ねたところ、1位は「収入を得て安定した生活を送りたい」で59.2%、次いで「自分の成長のため」が58.5%、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」が44.9%となった。

■ 女性の「フレックスタイム」・「在宅勤務」・「短時間勤務制度」の利用意向が低下

利用したい働き方について尋ねたところ、女性において「利用したい」とする割合の高い上位3項目は、「短時間勤務制度」68.4%、「テレワーク（在宅勤務）」62.1%、「フレックスタイム（時差出勤等）」58.9%であったが、いずれも前回より10ポイント以上減少しており、それぞれ▲11.7ポイント、▲12.2ポイント、▲13.9ポイントとなった。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋証券取引所・金融記者クラブ

【本件に関するお問い合わせ先：(株)OKB総研 調査部 梅木 風香 Tel.0584-74-2615】

調査の概要

調査対象	岐阜県・愛知県等の企業・団体の新入社員
調査期間	2025年3月28日～4月7日
調査方法	OKB総研主催の新入社員研修会（WEB,集合型）の受講者(755名)に無記名方式で実施
有効回答者数	463名(有効回答率 61.3%)
回答者属性	下表の通り

		全体	男性	女性	回答しない
有効回答者数		463名	267名	190名	6名
平均年齢		21.1歳	21.0歳	21.3歳	23.2歳
最終学歴	高校卒業	35.4%	36.7%	33.7%	33.3%
	専門学校卒業	10.2%	9.0%	12.1%	0.0%
	短期大学卒業	5.2%	2.6%	8.4%	16.7%
	4年制大学卒業	44.5%	45.3%	43.7%	33.3%
	その他	4.8%	6.4%	2.1%	16.7%
居住地	岐阜県	57.7%	56.6%	60.0%	33.3%
	愛知県	31.1%	32.2%	28.9%	50.0%
	三重県	1.3%	1.1%	1.6%	0.0%
	滋賀県	2.4%	3.0%	1.6%	0.0%
	その他	7.6%	7.1%	7.9%	16.7%
業種	製造業	42.5%	44.9%	39.5%	33.3%
	建設業	14.9%	18.4%	10.0%	16.7%
	卸売・小売業	7.8%	7.1%	7.9%	33.4%
	サービス業	7.1%	4.5%	11.1%	0.0%
	医療・福祉	6.9%	2.6%	13.2%	0.0%
	その他	20.8%	22.5%	18.3%	16.6%

（注）端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある（以下同じ）。

今年の新入社員像

(1) 地元就職とUターン就職

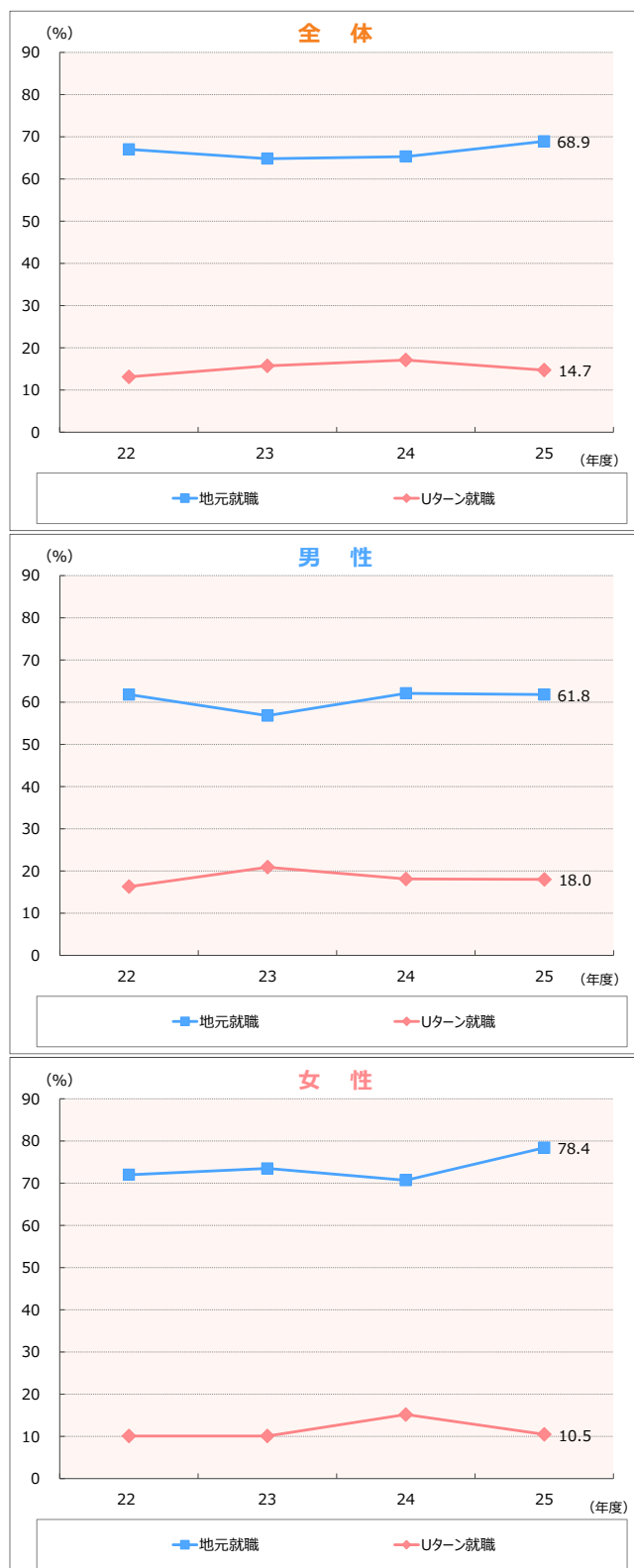
…「地元就職」が68.9%

「あなたは地元就職・Uターン就職・その他のうち、どれにあてはまりますか」と尋ねたところ、「地元就職」が68.9%で最も高くなった。「Uターン就職」は14.7%だった(図表1)。

ここ4年間で「地元就職」は6割前後、「Uターン就職」は1割前後で推移している。

男女別に見ると、「地元就職」は男性が61.8%、女性が78.4%と、女性が男性に比べ16.6ポイント高くなっている。「Uターン就職」は男性が18.0%、女性が10.5%と、男性が女性に比べ7.5ポイント高くなっている。

図表1 地元就職とUターン就職(「その他」を除いた項目)



(2) 就職先の選択基準

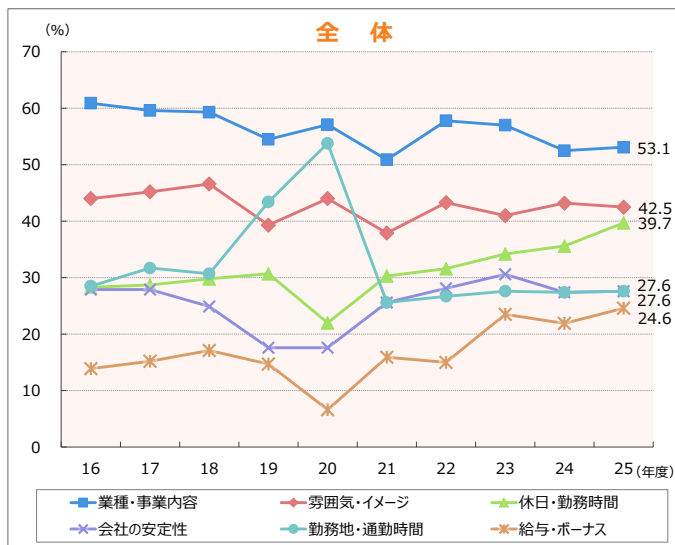
…「休日・勤務時間」「給与・ボーナス」が上昇傾向

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」（53.1%）、2位は「雰囲気・イメージ」（42.5%）、3位は「休日・勤務時間」（39.7%）となった（図表2）。

「休日・勤務時間」と「給与・ボーナス」は、ここ10年間で振れを伴いながらも緩やかな上昇傾向となっている。

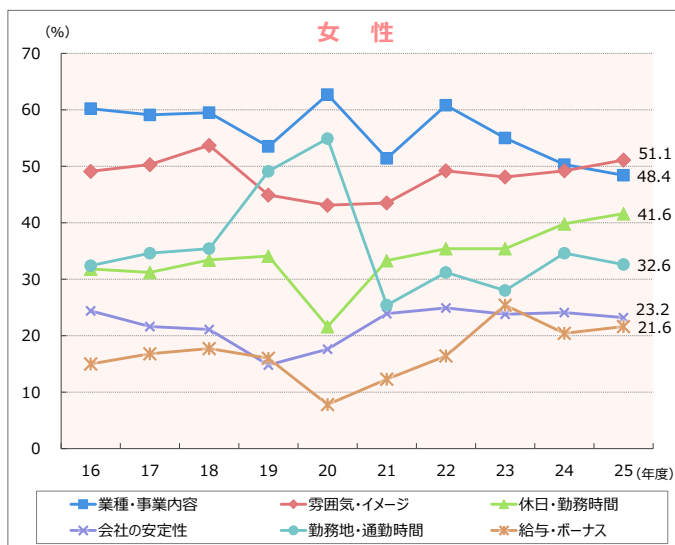
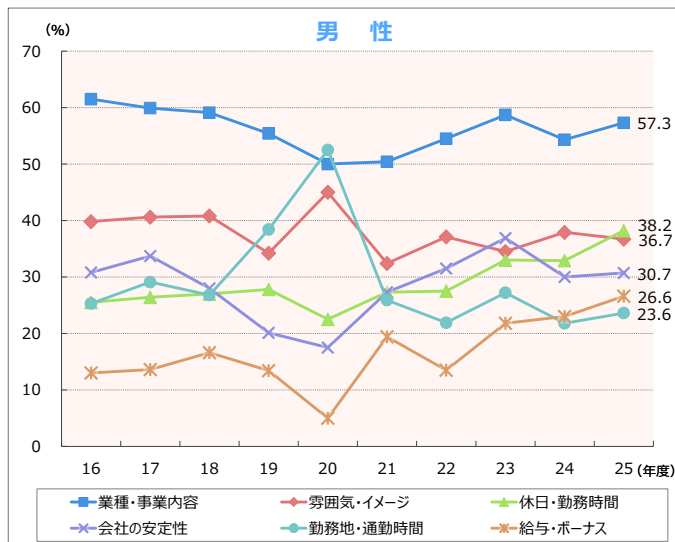
男女別に見ると、男性は「業種・事業内容」（57.3%）、女性は「業種・事業内容」（51.1%）がそれぞれ最も高くなった。「雰囲気・イメージ」については女性が男性に比べて14.4ポイント高くなっている。

就職先の選択基準（上位6項目）の推移



図表2 就職先の選択基準 ※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	業種・事業内容	53.1%	+0.6
2	雰囲気・イメージ	42.5%	▲0.7
3	休日・勤務時間	39.7%	+4.1
4	会社の安定性	27.6%	+0.2
5	勤務地・通勤時間	27.6%	+0.2
6	給与・ボーナス	24.6%	+2.7
7	社員・人事担当者の対応	13.8%	▲1.0
8	福利厚生	13.6%	▲1.2
9	会社の将来性	12.3%	+0.7
10	自分自身の成長	11.7%	▲3.8
11	会社の規模	9.1%	+2.3
12	親または学校の推薦	6.0%	+0.1
13	会社の知名度	3.0%	+1.4
14	SDGsなど社会貢献意識の強さ	2.6%	+0.3
15	柔軟な働き方(テレワークなど)	2.2%	+0.8
16	その他	0.6%	▲1.0



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(3) 将来就きたい地位

…「スペシャリスト志向」が再び首位に

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「特殊能力・技能のあるスペシャリスト社員（以下：スペシャリスト志向）」が36.9%で最も高く、次いで「部長・課長・主任などの肩書のある管理職（以下、管理職志向）」が20.5%、「一般社員のままだよい（以下：一般社員志向）」が19.0%となった（図表3）。

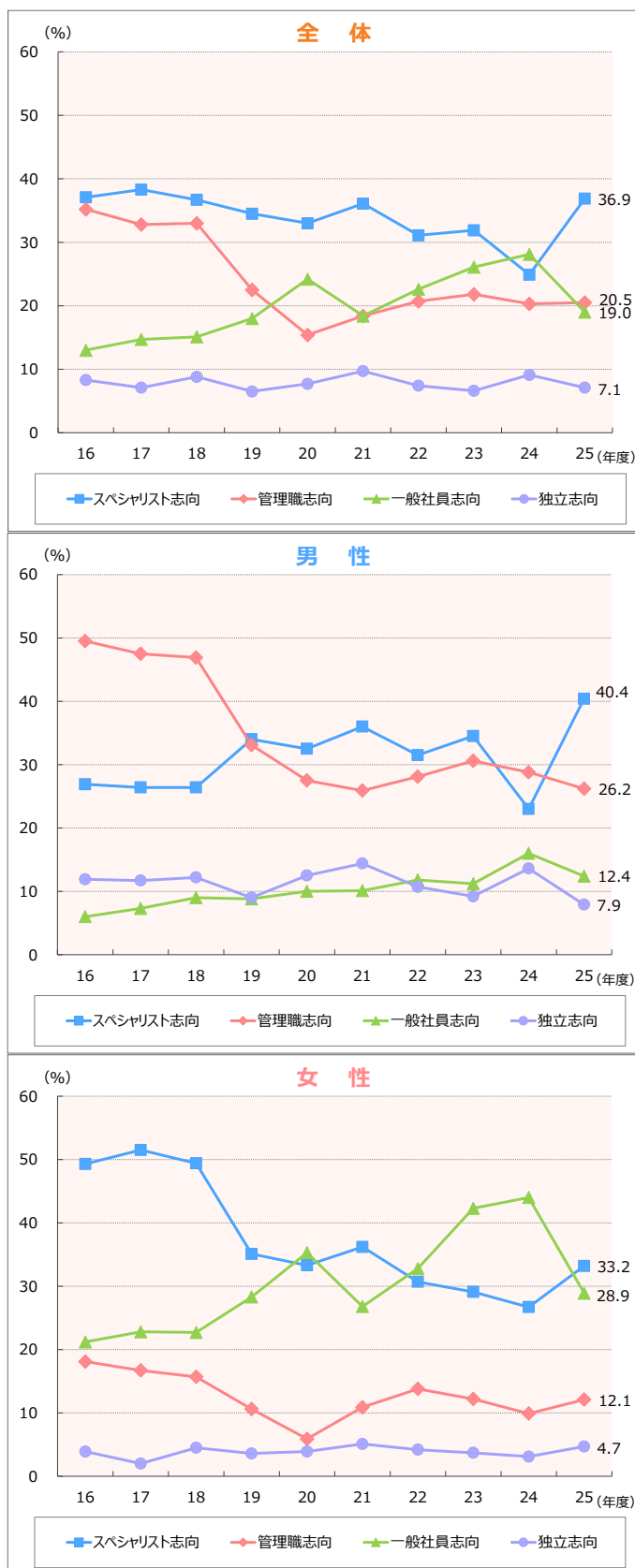
「スペシャリスト志向」が前回から12.0ポイント上昇して2年ぶりにトップとなった。「スペシャリスト志向」を選択した理由（自由記述）としては、「会社に貢献できる人になりたい」「給料が上がるから」などのコメントが目立った。

一方、前回1位だった「一般社員志向」は9.1ポイント低下して3位となった。

男女別に見ると、男性は「スペシャリスト志向」が40.4%で前回から+17.4ポイントと大きく上昇し1位となった。2位は「管理職志向」で26.2%だった。

女性は「スペシャリスト志向」が33.2%で最も高くなった。「一般社員志向」は28.9%で前回から▲15.1ポイントと大きく低下し、「スペシャリスト志向」と順位が入れ替わった。

図表3 将来就きたい地位（「わからない」を除いた項目）



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(4) 上司・先輩との人間関係

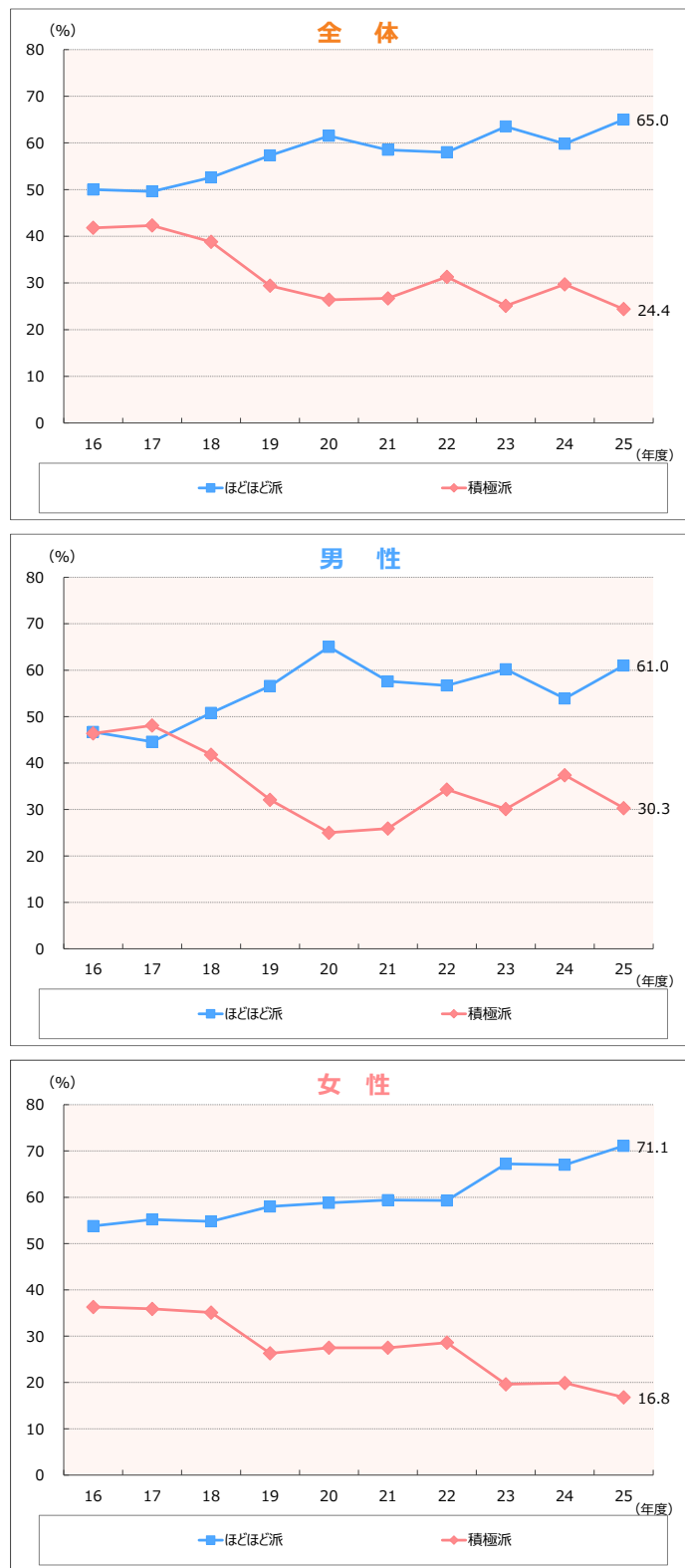
…「ほどほど派」が65%

「上司・先輩との人間関係はどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」が65.0%で最も高く、次いで「プライベートも含め積極的に（以下：積極派）」は24.4%となった（図表4）。

男女別に見ると、男性は「ほどほど派」が61.0%で前回から7.1ポイント上昇した一方、「積極派」は30.3%で前回から7.1ポイント低下し、両者の差は再び開いた。

女性は「ほどほど派」が71.1%で前回から4.1ポイント上昇した一方、「積極派」は16.8%で前回から3.1ポイント低下し、両者の差はやや拡大した。

図表4 上司・先輩との人間関係（上位2項目）



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(5) 入社の際の不安

…「上司・先輩との人間関係」が4年連続でトップ

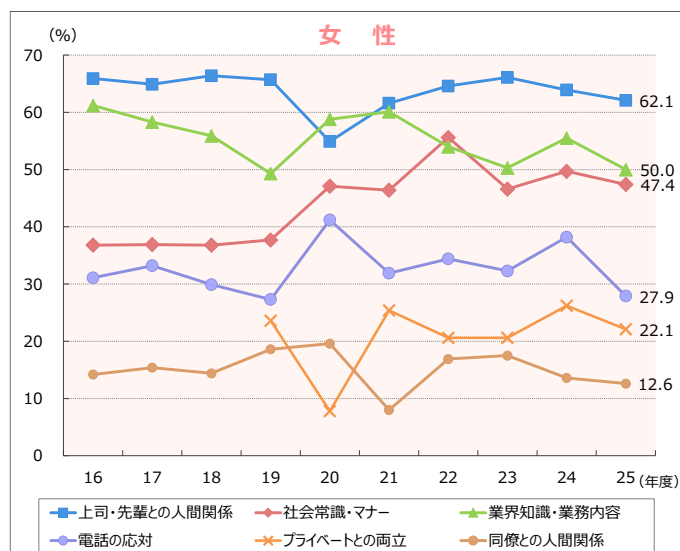
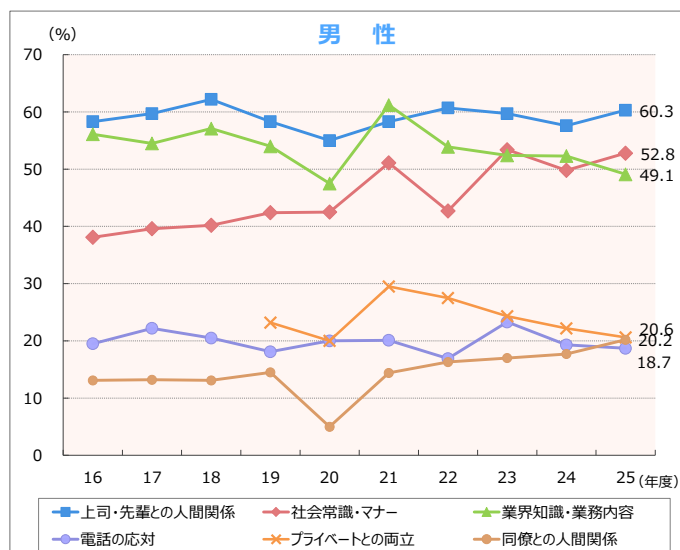
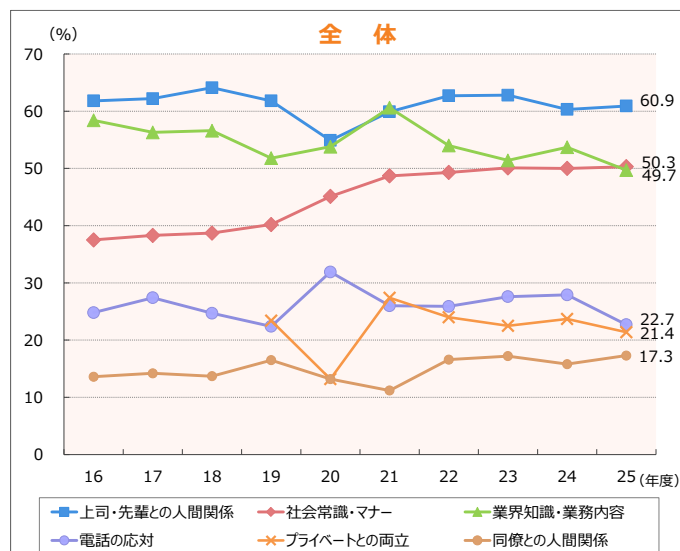
「入社にあたって不安に思うことは何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、「上司・先輩との人間関係」が60.9%と、4年連続でトップとなった。2位は「社会常識・マナー」(50.3%)、3位は「業界知識・業務内容」(49.7%)だった(図表5)。

男女ともに「上司・先輩との人間関係」(それぞれ60.3%、62.1%)が最も高くなった。女性では「電話の応対」(27.9%)が前回から10.3ポイント低下した。

図表5 入社の際の不安 ※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	上司・先輩との人間関係	60.9%	+0.6
2	社会常識・マナー	50.3%	+0.3
3	業界知識・業務内容	49.7%	▲4.0
4	電話の応対	22.7%	▲5.2
5	プライベートとの両立	21.4%	▲2.3
6	同僚との人間関係	17.3%	+1.5
7	規則的な生活	14.9%	▲0.6
8	パソコン・オフィス機器の使い方	13.0%	+0.4
9	機械の使い方	13.0%	+0.9
10	健康	9.3%	▲1.9
11	その他	1.1%	+0.9

入社の際の不安(上位6項目)の推移



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(6) 働く目的

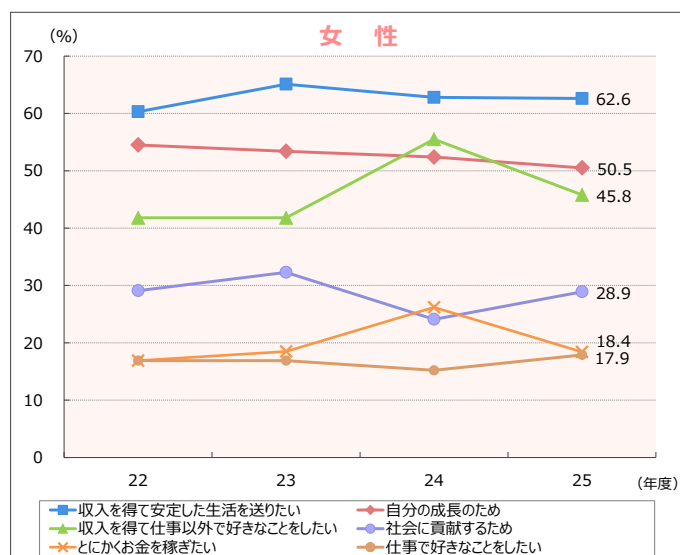
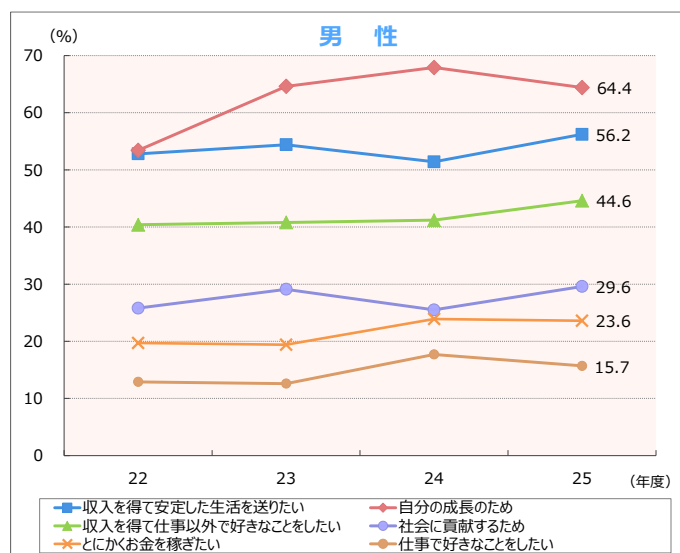
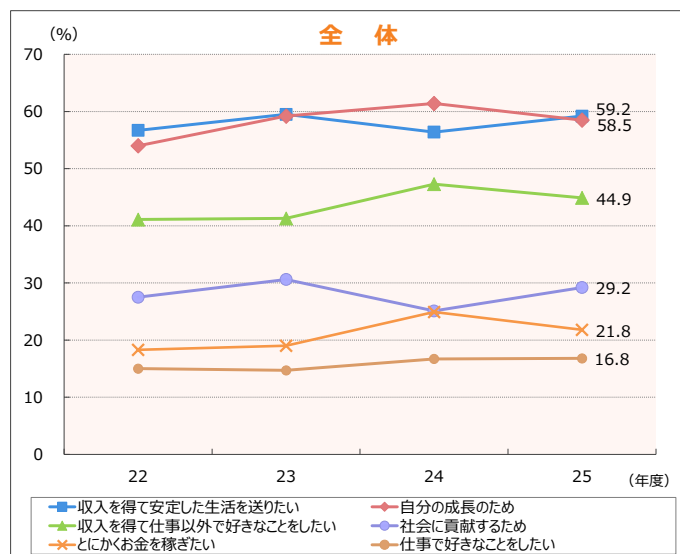
…「収入を得て安定した生活を送りたい」「自分の成長のため」が上位

「あなたが働く目的は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「収入を得て安定した生活を送りたい」(59.2%)、2位は「自分の成長のため」(58.5%)、3位は「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(44.9%)となった(図表6)。

男女別に見ると、男性は「自分の成長のため」(64.4%)が最も高く、次いで「収入を得て安定した生活を送りたい」(56.2%)、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(44.6%)となった。「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から9.7ポイント低下し、「自分の成長のため」は女性と比べて13.9ポイント高くなっている。

女性は「収入を得て安定した生活を送りたい」(62.6%)が最も高く、次いで「自分の成長のため」(50.5%)、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(45.8%)となった。「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から9.7ポイント低下し、「自分の成長のため」と順位が入れ替わった。

働く目的(上位6項目)の推移



図表6 働く目的 ※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	収入を得て安定した生活を送りたい	59.2%	+2.8
2	自分の成長のため	58.5%	▲2.9
3	収入を得て仕事以外で好きなことをしたい	44.9%	▲2.4
4	社会に貢献するため	29.2%	+4.1
5	とにかくお金を稼ぎたい	21.8%	▲3.1
6	仕事で好きなことをしたい	16.8%	+0.1
7	キャリアアップのため	14.9%	▲0.4
8	社会で活躍するため	13.2%	+1.3
9	高い地位を得るため	4.5%	+1.3
10	その他	1.7%	+0.8

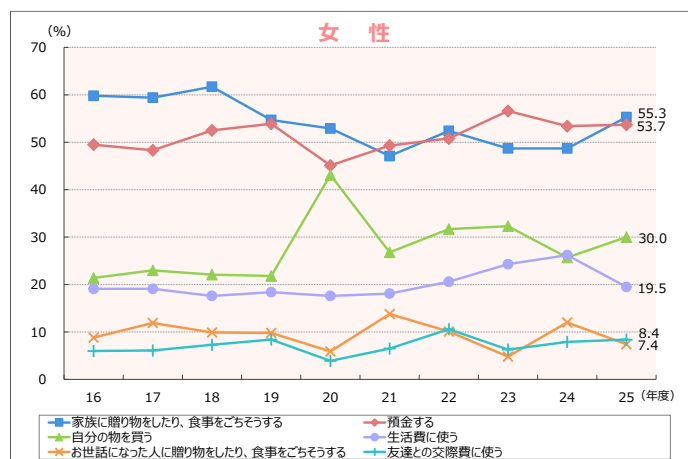
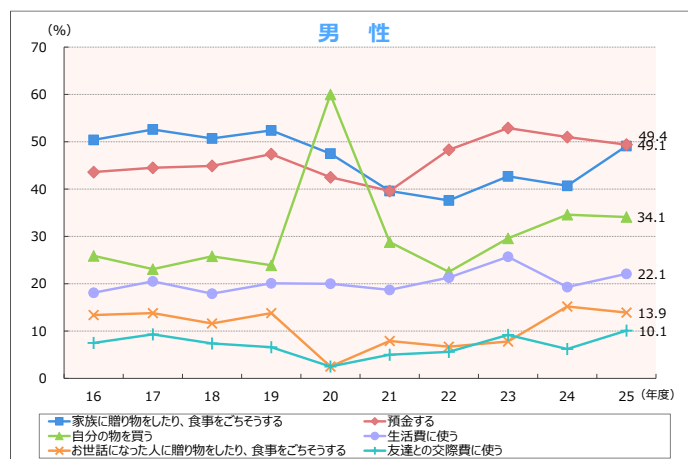
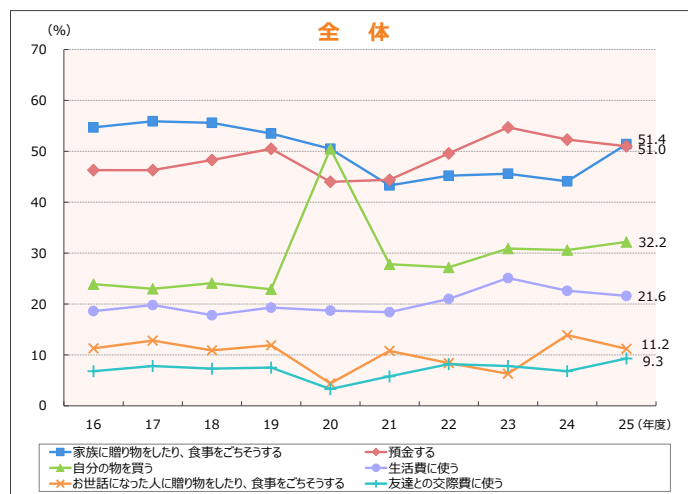
(7) 初給与の使い道

…「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」「預金する」が上位

「初給与はどのように使いますか（2 つまで選択）」と尋ねたところ、1 位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」（51.4%）、2 位は「預金する」（51.0%）となった（図表 7）。

男女別に見ると、男女ともに「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」、「預金する」が上位を占めた。

図表 7 初給与の使い道（上位 6 項目）※複数回答



※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(8) 利用したい働き方

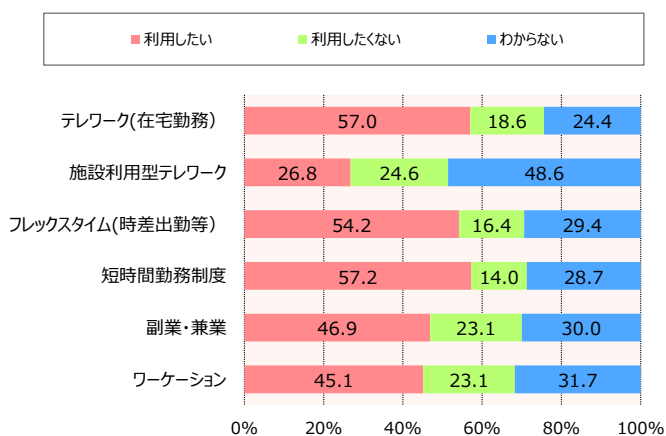
…女性の「フレックスタイム」・「在宅勤務」・「短時間勤務制度」の利用意向が低下

利用したい働き方について尋ねたところ、「利用したい」の回答率が最も高いのは「短時間勤務制度」(57.2%)、次いで「テレワーク(在宅勤務)」(57.0%)、「フレックスタイム(時差出勤等)」(54.2%)だった(図表8)。

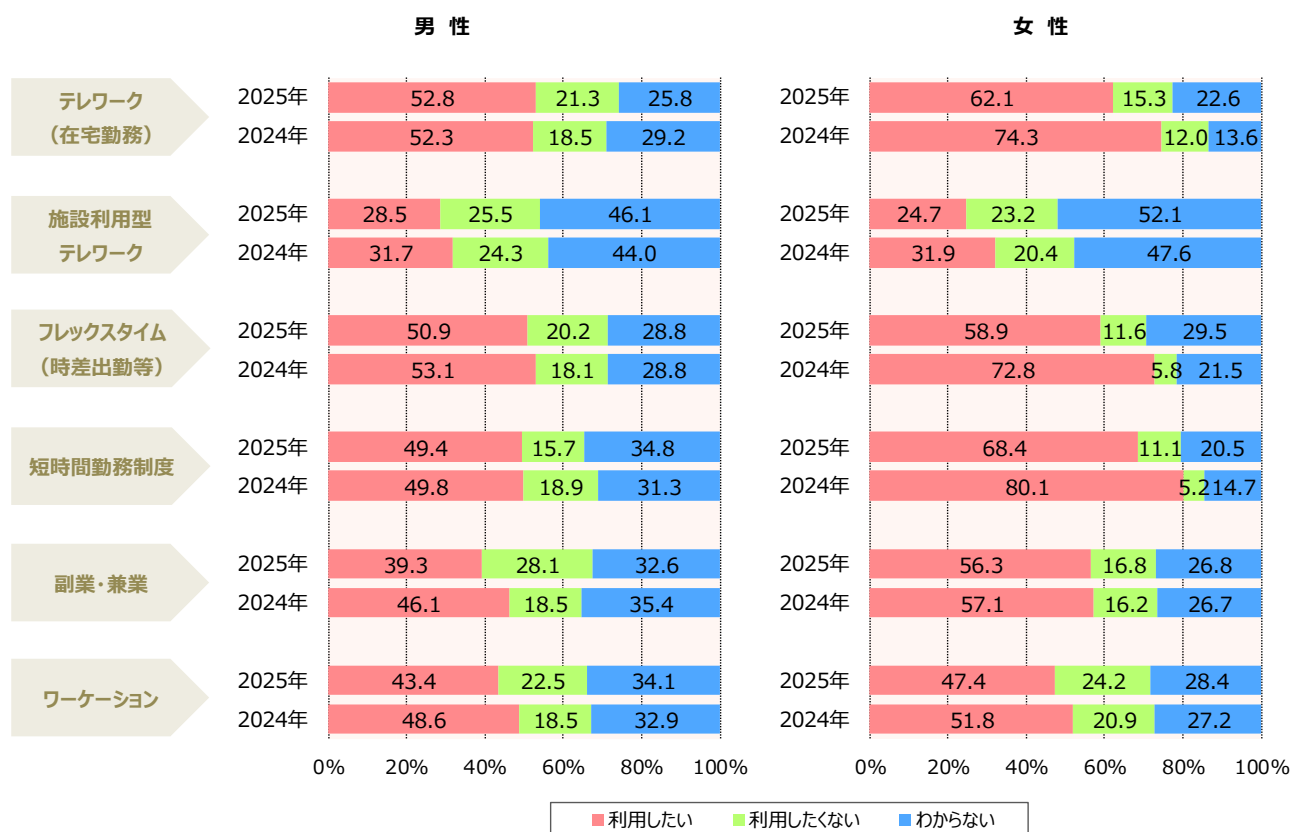
男女別に見ると、「短時間勤務制度」、「副業・兼業」の「利用したい」は、女性が男性を15ポイント以上上回っている。

前回と比較すると、女性において「利用したい」の割合が高い上位3項目は、「短時間勤務制度」が68.4%、「テレワーク(在宅勤務)」が62.1%、「フレックスタイム(時差出勤等)」が58.9%であったが、いずれも前回より10ポイント以上低下しており、それぞれ▲11.7ポイント、▲12.2ポイント、▲13.9ポイントとなった(図表9)。

図表8 利用したい働き方



図表9 利用したい働き方(男女別)



(9) 理想の上司

…「内村光良」が2年連続で1位

今年度の新入社員に、「あなたの理想の上司とはどんなタイプですか。著名人・有名人に例えて1人だけお答え下さい（自由回答）」と尋ねたところ、全体ランキングではタレントの「内村光良」が前回に続き1位に輝いた。選んだ理由については、「親しみやすく優しそう」、「ダメだと思ふことははっきりと言って、正しい道に進めるようにしてくれそう」などの意見が寄せられ、男女別ランキングでも1位となった。

2位も前回と同じくメジャーリーガーの「大谷翔平」で、特に男性からの支持が多く、「目標を持って努力しているから」、「ストイックだけど優しそうだから」などの意見が寄せられた。

男女別ランキングでは、男性が選んだトップ3は1位が「内村光良」、2位が同率で「大谷翔平」と「明石家さんま」となった。女性が選んだトップ3は1位が「内村光良」、2位が「アンミカ」、3位が同率で「天海祐希」と「水ト麻美」となった（図表10）。

（敬称略）

図表10 理想の上司（敬称略）

全 体	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	1	明石家さんま	明石家さんま	水ト麻美	内村光良	内村光良
	2	水ト麻美	天海祐希	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平
	3	天海祐希	内村光良	明石家さんま	水ト麻美	明石家さんま
	4	内村光良	櫻井翔	内村光良	明石家さんま	水ト麻美
	5	イチロー	水ト麻美	天海祐希 志村けん	櫻井翔、志村けん フリーザ、ムロツヨシ	アンミカ

男性 新入社員	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	1	明石家さんま	松本人志	志村けん	大谷翔平	内村光良
	2	イチロー	明石家さんま	明石家さんま	内村光良	大谷翔平
	3	阿部寛 松岡修造 松本人志	イチロー	大谷翔平	フリーザ	明石家さんま
	4		内村光良	内村光良	明石家さんま	フリーザ
	5		志村けん	栗山英樹	志村けん ムロツヨシ	松岡修造

女性 新入社員	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	1	水ト麻美	天海祐希	水ト麻美	水ト麻美	内村光良
	2	天海祐希	水ト麻美	天海祐希	内村光良	アンミカ
	3	内村光良	明石家さんま	櫻井翔	アンミカ 櫻井翔	天海祐希
	4	明石家さんま	内村光良	大谷翔平		水ト麻美
	5	櫻井翔	櫻井翔	明石家さんま	天海祐希 渡辺直美	櫻井翔

（注）網掛けは2025年度全体で回答率が高かった上位3位までの人。

以上